

第5学年3組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成28年11月30日(水) 5校時 (13:50~14:35)
アリーナ

2. 議題 「5の3冬季 最高オリンピックをしよう」
(集会活動)

3. 議題について

(1) 児童の実態 36名

明るく素直で何事に対しても真面目に取り組むことができる。

しかし、失敗を恐れ、チャレンジすることをあきらめてしまったり、前に立って話す際にはメモを見ながら話したりする様子から自信のなさを感じる。その都度、チャレンジした児童を認め励ますとともに、安心して話すことのできる聴き方について指導してきた。その中で、八ヶ岳自然教室などを通して、仲間を大切に思う心や自分たちの生活を自分たちの力でよりよくつくっていかうとする気持ちが少しずつ育ってきている。

学級目標を決める際には、「36人で」「誰も置いていかない」「思いやり」「自ら考え行動」など仲間を大切に思ったり、高学年を意識したりする言葉が多くあがった。36人の思いを大切にしながら、「積極的」「心」「協力」「仲間」「笑顔」という目指したい5つの柱を決めた。この5つの柱が達成した先に、36人の仲間と共に最高のクラスをつくり上げることができるという児童の思いから学級目標を「最高」とした。

話し合い活動は、これまでに7回、集会は4回経験してきている。話し合い活動では、司会グループを中心に進めながら話し合いのめあてを意識して自分の思いを伝えたり、仲間の思いをしっかりと聴いたりすることを大切にしてきた。しかし、自分の思いを発信する力の不十分さや伝え方が一方的で相手の意見と比べながら意見を伝えることができているというところが学級の課題として挙げられる。1回目、4月に行った「5の3最高パーティーをしよう」の話し合いでは、これまでに経験してきたドロケイやドッジビーなどの遊びが多く出され「みんなが知っているから。」という理由が目立った。「36人が仲良くなる」というめあてをくり返し確認し、競い合うものではなく、36人でたすきをつなぐ「36人障害物リレー」に決定した。「36人が仲良くなる」というめあてから、選ばれなかったドッジビーを生かそうと障害物の中にドッジビーのディスクを使った的当てを取り入れるなど仲間の思いを大切にしようとする姿も見られた。実践では、たすきやゴールテープをみんなで作るなど準備から意欲的に取り組み、めあてを意識して走る仲間を全員で応援するなど心の温まる場面が見られた。3回目、7月に行った「5の3最高夏祭りをしよう」の話し合いでは、男女の仲がもっと深まるというめあてを意識し話し合った。男女混合グループによる宝探し、男女ペアのビンゴ、盆踊りに決定した。また、夏祭りをさらに盛り上げたいという数名の児童の思いからやぐらやちょうちん作りにも取り組んだ。「やぐらを囲んで盆踊りをした方が楽しいと思う。」といった少数意見にも寄り添い認め合うことができた。集会を盛り上げる工夫は、まだ出づらいので、その場面で担任の助言をもとに考え少しずつ自分たちでアイデアを表現できるようになってきている。宝探しでは、児童からの相談を受け、「4人が離れ離れにならないようなくつつくことのできるアイテムを取り入れてはどうか。」と助言し、当日は、ロープを使って列車にして取り組んだ。実践を通して、「普段なかなか話さない子と仲良くなれた。」といったふり返りが出され、達成感を得ることができた。4回目、9月に行った「5の3夏季最高オリンピックをし

学級目標

『最高』

- ・自分から考え積極的に行動しよう
- ・やさしい心で仲間を大切にしよう
- ・心を一つに仲間と助け合い協力しよう
- ・36人みんなで絆を深めて仲良くなろう
- ・笑顔あふれる楽しいクラス

よう」の話合いでも「36人みんなが笑顔になって仲良くなる」ために競い合う中でも協力できて1つになりたいという思いをもって話し合い、リレー、やり投げ、アーチェリーに決まった。リレーでは、各国、トラックの半周を走る人とショートカットコースを走る人の人数のみが決まっており、どの順番で走るかはそれぞれに任せられていた。集会の1週間前から国ごとの座席にすることで、前もって走順や作戦を話し合ったり、国旗を作ったりするなど協力して取り組む姿が見られた。また、ユニホームは36人お揃いのものにして心を1つにする工夫を取り入れた。やり投げにおいても9人の距離で結果を出すことにこだわり、たとえ1人の仲間が上手くできなくても残りのメンバーで支え合うことを大切にしていた。実践後のふり返りでは「声をかけ合って協力できた。」「36人みんなで行き詰って仲が深まった。」というつくり上げた喜びや「もっと準備をすればレベルを上げられる。」「36人が仲良くなるというめあてがあったけど、少し勝ち負けにこだわってしまった。」など思うようにできなかったことや何のために活動するのかという意識に対して次への課題も挙がった。

(2) 議題選定の理由

今回の議題には、「36人でもっと仲良くなりたい」という提案者の思いが込められている。このように思う背景には、まだ男子と女子に分かれて活動することが多いという現状がある。そして、学級目標の「36人みんなで行き詰って仲良くなろう」にもっと近づきたいという声があがった。学級を自分たちでよりよくしたいという気持ちが高まり、「5の3夏季最高オリンピック」の経験や課題を生かして、36人でもっと仲良くなりしたいという児童の願いから本議題を選定した。

話し合い活動は回数を重ねるごとに、めあてを意識したり、仲間の思いを聴いて折り合いをつけたりする姿勢は少しずつ育ってきている。話し合い活動を通して、仲間の思いを大切にしながら寄り添い認め合うことのできる子どもを育てていきたい。自分とは異なる考えであってもその仲間の思いにしっかり耳を傾けて受け止め、みんなが納得して決定できるようにしたい。そして、一人ひとりの思いをしっかり聴き合える仲間であるからこそ、自分の思いを自信をもって伝えることができるようになってほしい。また、集会活動では、役割を果たすことで準備から仲間と協力できることに気付き始め、ここに楽しさを感じる児童が増えてきている。「36人の仲が深まってよかった」「この仲間と一緒に活動できてうれしい」「もっと最高のクラスにしたい」という思いを実感してほしい。仲間にも認められることで所属感が高まり、仲間の大切さや必要とされていることに気付くことができる。そして、これからの自分たちの生活を仲間とともによりよくするために、自分たちで自主的に取り組もうとする態度が育ってほしいと願っている。

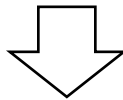
4. 評価規準

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級会	学級や学校生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し、支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効果的な進め方などについて理解している。
集会活動	楽しく豊かな集会活動にするために、自主的に取り組もうとしている。	見通しをもって活動計画を立て、信頼し支え合って実践している。	集会活動の意義や運営方法について理解している。

5. テーマとのかかわり

(1) 目指す子どもの姿

自分たちで創る 仲間と共に
～よりよい人間関係を築く力の育成を目指して～



高学年の目指す子どもの姿

- 自分の思いをもって、自分の言葉で語れる子
- 相手の気持ちに寄り添って、共に信頼し支え合っていこうとする子
- 自分たちで考え判断し、生活上のさまざまな問題を解決していこうとする子

(2) テーマに迫るための手立て

【自分の思いをもって、自分の言葉で語れる子（自分）】

○話し合いノートの活用（事前）

議題、提案理由、話し合いのめあてを伝え、事前に話し合いノートに自分の考えと理由を書かせる。児童一人ひとりの考えに対して、アドバイスや励ましの言葉を書き入れることで自分の思いに自信をもって発信できるようにする。

○司会グループへの指導（事前）

話し合いの手順や流れが分かるように台本を準備し、安心して司会を務めることができるようにする。台本をもとに話し合いの流れをイメージしながら司会グループで計画を立て、学級会を自分たちでつくっていくという意識をもてるようにする。

○ふり返し活動（集会活動 本時）

集会のねらいや前回と比べて、今回の実践を通してどうだったのか、感じたことや考えたことなどを伝え

合ったり、準備から集会活動までの仲間の頑張りや行動、姿勢などに目を向けて認め合ったりする時間にする。

【相手の気持ちに寄り添って、共に信頼し支え合っていこうとする子（相手）】

○話合いの可視化（事前 学級会）

出された意見を短冊に書いたり、意見を出した際には自分の顔のマークを黒板に貼ったりして話合いの流れや仲間の思いが分かるようにする。

○つながりのある話合い（事前 学級会）

仲間の意見のよいところに共感したり、仲間の考えに寄り添い、付け加えて意見を言ったりするなどつながりのある話合いができるようにする。心配意見に対しては、みんなで解決の方法を考えていくようにする。

○ふり返し活動（事前 学級会）

友達の思いを大切に聞いたり、みんなが納得できるような意見や仲間の思いに寄り添った意見、話合いのめあてや学級目標を意識した意見を伝えたりしたそれぞれの頑張りや認め合い共有する時間になりたい。今日のグッドマンでは、お互いを認め合うことで、次への自信につなげるとともに、児童同士のつながりを深めていきたい。また、話合いノートに自分のふり返しを記入する。自己評価や感想、次に向けての反省などを書くことができるようにする。

○集会活動の役割分担と準備（事前）

実践に必要な役割について考え、一人ひとりが役割を受けもち、協力して準備に取り組むことができるようにする。また、準備する際にはみんなのことを考え、めあてに合った創意工夫ができるように声をかけるとともに、仲間とかかわりながら取り組むことができるようにし、活動する楽しさを実感できるようにする。また、自分の役割以外にも目を向けて、仲間のために相談し合ったり、手伝ったり準備から「もっと仲良くなる」を意識して36人のかかわりをもつことができるようにする。

【自分たちで考え判断し、生活上の様々な問題を解決していこうとする子（集団）】

○ねらいを明確にする（事前）

集会のねらいを明確にするとともに、集会を通してなりたい姿や目指す姿、一人ひとりの目標などを模造紙にまとめ、集会当日も掲示する。何のために行うのか目的意識をもてるようにする。

○実践活動（本時）

集会のねらいや一人ひとりのめあてを意識しながら活動し、自分たちで決めたことを自分たちの力でやり遂げることができるようにする。集会活動を通して、達成感を得られるようにし、次に生かすことができるようにする。

○集会のふり返し（事後）

集会活動の前に書いた目指したい姿や個人のめあてに対してどうだったか、一人ひとりがふり返しを模造紙にまとめる。また、一人ひとりのめあてやふり返しに対して仲間からコメントをもらえるようにし、認め合い、児童同士のつながりを深めるとともに次への活動に生かす。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
10月下旬 休み時間	・議題箱に「36人が仲良くなれる冬季オリンピックがしたい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな学級にしたいのか考えて意見を入れるよう促しておく。 ☆学級生活に関心を持ち、学級をよりよくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月2日(水) 休み時間	・議題ポストから議題を集め話し合いの議題を選ぶ。	○今回の議題が「36人の仲を深めたい」というものであることを提案者に確認する。 ☆寄せられた議題の中から議題を選ぼうとしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
11月4日(金) 休み時間	・司会グループと提案者で柱と話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会1 ・指名司会1 ・黒板記録2 ・ノート記録1	○日時や場所など決まっていることを伝える。 ○今回の学級会では何を大切にして話し合いのめあてを考えるように促す。 ○それぞれの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるようにする。 ☆話し合いに向けて、進んで準備に取り組もうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) ☆教師とともに話し合いの進め方や話し合いのめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆話し合い活動の準備や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
11月7日(月) 帰りの会	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを伝える。	○話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。 ☆議題に対して関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月8日(火) 帰りの会	・自分の考えを話し合いノートに記入する。	○一人ひとりが話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるようにする。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月9日(水) 学級会	1. はじめの言葉 2. 司会グループの紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由の確認	○司会が話し合いの進め方などでつまずいた際には、助言する。 ☆司会グループとして、自分の役割を果たしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)

<p>決まったこと 「仲間とつなげ！ 5の3最高ホッケー」</p>	<p>5. 話し合いのめあての確認 「36人がもっと仲良くなれる 5の3冬季最高オリンピック の種目を考えよう。」</p> <p>6. 話し合い 柱1（何を） 「オリンピックの種目について」</p> <p>7. 決まったことの確認 8. ふり返り 9. 先生の話 10. おわりの言葉</p>	<p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し合いが行き詰った際には助言する。 ☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○話し合いのめあてを意識した発言や仲間の思いを受け止めた発言、司会グループの頑張りを称賛し意欲的に実践に向かうことができるようにする。</p>
<p>11月14日（月） 帰りの会</p>	<p>・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを伝える。</p>	<p>○話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。 ☆議題に対して関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
<p>11月15日（火） 帰りの会</p>	<p>・自分の考えを話し合いノートに記入する。</p>	<p>○一人ひとりが話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるようにする。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
<p>11月17日（木） 学級会</p> <p>決まったこと <ルールについて> 名前を呼んでパス 合言葉でシュート 男女でパス チャンスタイム フリーゾーン ゴールを大きくする <盛り上げについて> 入場ポーズ 聖火 国旗 国歌 実況 リ ストバンド 賞状 一人一人の意気込みを 映す メダル</p>	<p>1. はじめの言葉 2. 司会グループの紹介 3. 議題の確認 4. 提案理由の確認 5. 話し合いのめあての確認 「36人みんなの仲がよくなる工夫を考えよう」</p> <p>6. 話し合い 柱2（どのように） ①「5の3最高ホッケーのルールの工夫について」 ②「オリンピックを盛り上げる工夫について」</p> <p>7. 決まったことの確認 8. ふり返り 9. 先生の話 10. おわりの言葉</p>	<p>○司会が話し合いの進め方などでつまづいた際には、助言する。 ☆司会グループとして、自分の役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守り、話し合いが行き詰った際には助言する。 ☆友達の考えを認めながら、よりよい解決方法や実践の仕方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○話し合いのめあてを意識した発言や仲間の思いを受け止めた発言、司会グループの頑張りを称賛し意欲的に実践に向かうことができるようにする。</p>
<p>11月18日（金） 帰りの会</p>	<p>・集会を実施するために必要な係の分担をする。</p>	<p>○これまでの集会を想起させ、必要な係や役割を全員で分担できるようにする。</p>

		<p>☆集会活動の意義や運営方法について理解している。(集団活動や生活についての知識・理解)</p> <p>☆集会の準備に進んで取り組もうとしている。(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p>
11月21日(月)～ 休み時間	・係ごとに活動計画を立てて準備する。	<p>○これまでの経験を生かして、もっと仲良くなるための工夫ができるように助言する。</p> <p>☆集会活動に向けて、自分の役割に責任をもって取り組んでいる。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>
11月22日(火) 朝の会	・集会のねらいをもとに、準備や集会活動での自分のめあてを模造紙にまとめる。	<p>☆集会の実施に向けためあてを一人ひとり立てている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

(2) 本時の活動 (集会活動)

①ねらい

・36人でもっと仲良くなりたいという集会のねらいを意識し、役割を果たしながら集会に参加している。

②活動計画

児童の活動	支援 (○) と評価 (☆)
<p>1. 開会セレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手入場 ・聖火点灯 ・各チームオリジナル国旗を掲げる ・各チームオリジナル国歌を歌う ・めあての確認 ・選手宣誓 <p>2. 活動①「仲間とつなげ！5の3最高ホッケー」</p>	<p>○一人ひとりのめあてを書いた模造紙を掲示する。</p> <p>○一人ひとりの役割に応じた準備をする様子を見守り、足りない点などがあれば助言する。</p> <p>○計画やめあてにそって、自分たちの力で運営できるように見守り、必要に応じて声をかける。</p> <p>○「36人みんなが仲良くなる」というねらいとそれをもとに考えた個人のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><児童の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ○開会式係…開会セレモニーの企画・準備 ○聖火係…聖火台作り・聖火ランナー ○実況・解説係…原稿・資料作成 ○最高ホッケー係…ルールや道具の準備 ○応援係…応援グッズ作成 ○結果発表係…表彰台準備 ○賞状・メダル係…賞状・メダル作成 ○意気込み係…スライド作成 ○閉会式係…閉会セレモニーの企画・準備 </div> <p>○安全面に留意して活動に取り組むことができるようにする。</p> <p>☆話合いで決定したことを受け、ねらいを意識しな</p>

<p>3. 閉会セレモニー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果発表 ・ふり返り ・先生の話 ・おわりの言葉 	<p>から集会活動に取り組んでいる。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○やり遂げた喜びを実感させるとともに、集会のねらいや目指した自分の姿、友達の頑張りなどを中心にふり返りができるように見守る。</p> <p>○前回と比べてどうなったかについてもふり返ることができるようにする。</p> <p>○これまでの準備や集会活動を通して、ねらいを意識した取り組みについて具体的に認めるようにする。課題があった場合には、伝え今後にかけるようにする。</p>
--	---

③本時の視点

- ・集会のねらいを意識して取り組むことができたか。(発言や態度、行動など)

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
12月1日 (木) 朝の会	・ふり返りを書く。	<p>○集会を通して、自分の役割やなりたい姿に対してどうであったかという視点でふり返りを書き発表する。また、ふり返りに対して仲間からコメントをもらい、次の活動への意欲を高める。</p> <p>☆活動に対する自分の取り組みや活動を終えての自分や学級の様子をふり返り、次に生かそうとしている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p>

<p>おわりの言葉</p> <p>先生の話</p> <p>ふり返り</p> <p>認め合いタイム</p> <p>決まったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メダル ・リストバンド ・実況 ・国旗をつくる ・国歌を歌う ・聖火を作る／聖火ランナー ・入場ポーズを決める <p>オリンピックを盛り上げる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム6人でパスをつなぐ ・チャンスタイム ・フリーゾーンを作る ・ゴール大きくする ・名前を呼んでパスをする ・男女でパスをつなぐ <p>話し合うこと</p> <p>〈36人みんなが仲良くなる工夫について〉</p> <p>5の3最高ホッケーのルールの工夫</p>	<p>話し合いのめあて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36人みんなが仲良くなる工夫を考えよう <p>36人がもつと仲良くなりたいから。</p>	<p>提案理由</p> <p>夏季最高オリンピックで仲良くなれたように36人がもつと仲良くなりたいから。</p>	<p>議題</p> <p>5の3冬季最高オリンピックをしよう</p>	<p>第8回 学級会</p>
--	---	--	------------------------------------	----------------